



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2012-2013)

- **国際協会会長(IP) Philip Mathai (インド)**
"Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」
スローガン "Share your blessings in love"
「恵みを愛もて分かち合おう」
- **アジア地域会長(AP) Oliver Wu (台湾)**
"Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
スローガン "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ます」
- **西日本区理事(RD) 成瀬 晃三(名古屋クラブ)**
"Let Y's men Light Shine Ohters In the club, in the community, in the world"
「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
スローガン "Devote Yourself Y'sdom and Get More Satisfaction!"
「ワイズメンの満足度向上に真摯に取り組もう」
- **六甲部部長(DG) 上野 恭男(芦屋クラブ)**
『柔軟な創造で愚直に積極的に、ワイズライフを楽しもう！』
"With the heart filled with creative evolution, Let us enjoy Y's life faithfully and Constructively"
- **西宮クラブ会長(CP) 長井 慎吾**
『親睦と奉仕の実践でやりがいを湧かそう！』
"Let's enhance Y's spirit friendship and service activity!"

2013年 6月

第782号

《66期-12号》

Since 5.17.1948 →

5.17.2013 : 65周年

クラブ主役員

会 長 長井 慎吾
次期会長 堤 一幸
直前会長 濱崎 進一
副 会 長 山本 常雄
書 記 馬場 一郎
書 記 藤原百合子
会 計 足立 康幸
会 計 土橋 哲夫
監 事 岩田 健司
担当 主事 宗行孝之介
部ファンド主査 濱崎 進一

・スポンサークラブ
大阪クラブ
・DBC 締結(2007)
近江八幡クラブ
広 島クラブ

2013年 6月 西日本区強調ポイント "評価・計画"

成瀬 晃三西日本区理事(名古屋クラブ)

「ワイズメンの満足度が向上したかどうか。クラブ数が増加したかどうか。会員数が増加したか。数値で目標尺度で評価して、次年度につながよう。」

2013年 6月第一例会(年次総会)のご案内

日時: 2013年 6月28日(金) 19時~21時

会場: 西宮YMCA保育園3階ホール

ドライバー: 長井慎吾メン、山本常雄メン

1. 開会点鐘 長井会長
2. ワイズソング・聖句朗読 一同
3. ゲスト・ビジターの紹介 長井会長
4. 食前感謝・会食 一同
5. タイワークキャンプの報告会 ユースリーダー
6. 今期の活動報告と次期活動計画発表(次期役割含む)の承認決議 長井会長、堤次期会長
7. 今期の会計報告(仮)と次期会計予算(案)の承認決議 足立会計・土橋会計、山本次期会計
8. お誕生日のお祝い 長井会長
9. Y'sニュース 長井会長
10. YMCAニュース他(EMC 含) 宗行館長他(小野次期主査)
11. 閉会点鐘 長井会長 ※BF・後片づけ

今月の聖句

だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。目が手に向かっ
て「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たち
は要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見
える部分が、かえって必要なのです。

コリントの信徒への手紙一 第12章20節-22節 堤 一幸メン 選

5月 例会出席状況

第1例会(5.18土)

メ ン・ウイメン 21名
メ ネット・コメット 9名
ゲスト・ビジター 24名
合計54名 make-up 1名

出席率 91.7%

[前月以前の修正]

在籍会員数 24名

第2例会(5.10金)

メ ン・ウイメン 14名
メ ネット・コメット 0名
ゲスト・ビジター 0名
合計 14名

(累計出席率 96.1%)

3月 95.7% 4月 100.0%

累計 96.1% 累計 96.5%

ファンド・BFの累計

目 標	5 月	累 計
ニコニコ ファンド	2,000p	♥32,600p
Brotherhood Fund[BF] 345 \$	0p	27,800p
BF 使用済切手 (前期 1200g)	0g	♥1,870g
東日本大震災支援ファ 27,600 円	0p	♥35,600p
TOF・FF/EF・JWF 368 \$ / 345 \$ / 5,000 円	0p	8,000p

HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

6月13日 山口 洋子メネット 6月17日 岡田 春美メネット

6月21日 浅野 恭子メネット、

〒662-0977 西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内

TEL:0798-35-5987 FAX:0798-23-6170

西宮クラブホームページ URL: <http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/html> (YMCA経由)

<http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/index.cgi> (西宮公式HP)

西日本区ホームページ URL: info@ys-west.or.jp (理事通信、事業主任通信、各種資料、各クラブ他)

第一例会: 毎月第3金曜日19時~

第二例会: 毎月第1金曜日19時~

《交通》西宮YMCA

JRさくら夙川駅下車南へ

国道2号線渡りGS南裏

・阪急夙川駅南へ 600m

・阪神香植駅北へ 400m

我らのモットー：To acknowledge the duty that accompanies every right !

(強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う)



♥西宮ワイズメンズクラブはこの度、1948年のチャーター以来65周年を迎えました。多くの諸先輩方が営々と繋いでこられた歴史を私達も受け継いで参ります。晴れて5月18日(土)、水野神戸 YMCA 総主事をはじめ内外54名の参加者をお迎えし、日本福音ルーテル西宮教会ならびに西宮 YMCAにおいてささやかで、和やかな記念の時を持ちました。今後、私たちはさらに次の節目である70周年に向けて弛みない歩みを始めております。皆様には今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻ならびに交流のほどをよろしくお願い申し上げます。♥
(最前列左より、西宮 YMCA ユースリーダー中島君、村上さん、高岡さん、前列左より丸山(西宮)、松本(さんだ)、西山(西宮)、鈴木(神戸ポート)、持田(近江八幡・DBC)の各メン、水野神戸YMCA 総主事(神戸ポート)、牟(大阪・ホストクラブ)、長井会長(西宮)、上野(芦屋、六甲部部长)の各メン、柏原(芦屋)ウイメン、片岡(広島・DBC)、進藤(神戸)の各メン、中列左より谷川西宮 YMCA 保育園園長(宝塚)、山口(洋)(西宮)メネット、三島西宮つとがわ保育園園長(西宮)、足立メネット、岡田実行委員長(西宮)、濱崎(西宮)、長尾(宝塚)、佐野(神戸ポート)、万本(西宮)、山本(西宮)、小野(西宮)、山田(神戸ポート・次期六甲部部长)、館(神戸学園都市)、岡山(神戸西)、足立(西宮)の各メン、宮地(西宮)、廣瀬(西宮)の各メネット、山口(吉)(西宮)メン、藤原(西宮)ウイメン、後列左より土橋(西宮)、岩田(西宮)、山口(政)(西宮)、浅野(西宮)、廣瀬(西宮)、濱(西宮)の各メン、宗行西宮 YMCA 館長(西宮)、濱(西宮)、岡田(西宮)の各メネット、石井(西宮)ウイメン、馬場(一)(西宮)メン、西宮 YMCA ユースリーダー岡田君 [他の参加者]ルーテル西宮教会 市原牧師、西宮YMCA 大塚主事 大津主事、西宮 YMCA 上杉主任保育士、西宮クラブ: 西山、山本、山口(まり子)各メネット 合計54名 ※()内は所属クラブ名 敬称略

【会長メッセージ】

長井 慎吾 会長



「事業が無ければワイズは無くなる」

西宮クラブ65周年記念例会の開催おめでとうございました。ささやかな会でしたが、西宮クラブと西宮YMCAの歴史を振り返り、先達の苦勞を知ることでクラブ内の結束を強められたのではないかと思います。来賓のご祝辞で、親クラブである大阪クラブ牟大盛メンが「事業が無ければワイズは無くなる」と申されました。これには、まったく同感です。大阪クラブでは、数年前から聴覚障がい青少年国際キャンプ(HHキャンプ)をクラブの中核事業として取り組んでおられるとのこと。西宮クラブは、50周年記念事業として、西宮YMCAが全国に先駆けて始めた学習障がい児プログラム(LD教育)を支援することをスタートし、数年継続の後、現在は役目を終えました。その後、クラブの中核事業が無い状態が続いています。65周年のあゆみの中で、西宮におけるYMCA運動継続が私たちの最大のミッションであることは理解頂けたと思います。

次は、若者も巻き込んで、やりがいがあるクラブの中核事業の確立が必要です。3月に開催できたファミリープログラムがのようになればと思います。

【65周年記念例会開催】

ドライバー: 岡田佑一郎メン(実行委員長)

山口政紀メン(副実行委員長)

5月例会が西宮クラブ65周年記念例会として5月18日(土)メン、メネットの協力のもと、一部は日本福音ルーテル西宮教会での記念感謝礼拝、二部は場所を西宮YMCA 保育園3階ホールに移しての記念感謝例会と茶話会の二部構成で開催することが出来ました。

一部は馬場一郎メンの司会で市原正幸牧師より『いつも、いつも、いつも』の表題でメッセージを頂き、その後長井会長よりスライドを中心に、西宮クラブの歴史が簡潔に紹介され、65年の歴史が決して順調な時期ばかりでなかった事を再確認し、先輩諸氏が守り繋いでこられた西宮クラブを、次はどのようにバトンタッチしていかをあらためて考えさせられる機会でもありました。

二部は宗行担当主事の司会で西山茂夫メンの入会式がゲスト、ピジターの方々立会いのもとに、メインイベントとして取り行われ、新しく仲間に加わって下さることになりました。上野六甲部部长の祝辞、水野神戸 YMCA 総主事の来賓挨拶の後、司会が濱メンにバトンタッチされ、牟大阪クラブ書記の乾杯の発声で茶話会に移行し、近江八幡クラブの持田会長のコカリナ(木製のオカリナ)



の演奏や、神戸西クラブの岡山メンのギターと西宮 YMCA ユースリーダーの指導でキャンプソングを全員で歌い、和やかなひと時を持つことが出来ました。

二次会はメネット3名も加わり、上海料理・陳餐閣に会場を移し、大いに盛り上がりました。(第三部の出席者は37名)

出席者は上記集合写真下のメンバーの通り54名。(写真には上杉直子西宮 YMCA 保育園主任保育士、西宮クラブ西山メネット、山口(まり子)、山本各メネットは写ってませんが、上杉保育士は二部に出席、3メネットは三部に出席されました。)
(岡田佑一郎)



第一部・記念礼拝



西山茂夫さん入会式

【西宮クラブ65周年記念例会】

廣瀬 一雄メン



今回の65周年記念の例会に来られていなかったメンが3名おられた。阪根新メン、馬場貴英メン、堤一幸メンの御三方。それぞれに御事情があり残念ながらのお休みであったのだろう。そのうちの御一人、堤メンは次期西

宮クラブの会長を引き受けられる。彼はクラブの再入会のメンだが、数年前、第二例会(役員会)の後、それこそその後の二次会に参加せずに、まじめに自宅への帰路の途中に交通事故に遭遇された。入院、オペ、退院、転職をされるなか、今回は検査入院をしておられた。

人間でいえば65歳は今は前期高齢者・派手ではないが、トラキチ?の牧師のおられる教会での厳粛にとりおこなわれた第一部、そして手作りの会場セットでの保育園ホールの第二部。その後の会場を移しての懇親会。メネットともども参加出来ること、感謝。参加できなかったメンの分まで飲んで、食べて、しゃべらせて頂きました。次回は是非ご一緒を・・・。

5年前は当たり前だが60周年。DBCクラブの近江八幡、広島クラブと3クラブでの合同開催でしたが、当時からのメン、特別メネットは西宮クラブに15名おられる。その当時、病床に伏せておられたメン、直前に天国に逝かれたメン、事業の都合で退会されたメンなど、記念例会に参加できなかったメンを想い出します。事情で記念誌が遅れているようですが、今回は60+5で、長井会長作成のPPをベースにクラブの65歳中にできればなあ～と思案中の今日この頃です。

【触主面(フレッシュメン)登場24】

三島 浩司メン(西宮つとがわYMCA 保育園園長
神戸YMCAのキャンプ、野外活動は「私も自然の一員であ



って、私を取り巻く全ての環境の中で調和よく生き、生かされていること、生かされていることを自らが知って行くプロセスである。

30年以上前のリーダー時代に、リーダートレーニングの後、近江岸さんから「耳にタコができるやろ。」といわれたことがありました。「確かに！」そして、この「タコ」がそれから今日に至るまでYMCAのスタッフとしてボランティアリーダーや子ども達と接する際の根っことなっているような気がします。この言葉は、単にキャンプや野外活動だけではなく、神様から生を受けた人として生きる根幹のように思います。そういう意味では、今与えられている保育園という場の子ども達や先生達との歩みの中でも生きる言葉だと思えます。また、この言葉だけでなく、子どもの指導法や自然、環境との関わり方など、近江岸さんは実の多くの「タコ」を私の耳に残してくださいました。

先日、20年余りに明舞YMCAのユースバスケットボールの元メンバーと久しぶりに再会しました。地元の小学校でミニバスケットボールの指導者として頑張っている者。高校のバスケットボール部の顧問として頑張っている者。それぞれに悩みながら子ども達の指導に悪戦苦闘しているようでしたが、その話から、彼らの耳にも私が近江岸さんからいただいた「タコ」とそっくりな「タコ」ができていたのを感じ、うれしくなりました。

早いもので近江岸さんが天に召されて5年。「建助さん、タコ、間違いなくひろがっていますよ。」

【今後の予定】7月号(25):浅野純一メン(6月20日締切)、8月号(26):岩田健司メン(7月20日締切)。一巡完了。(27):谷川尚メン。

【Y'sニュース】

長井 慎吾会長

1. 次期六甲部準備役員会開催

5月11日(土)神戸YMCAにて、次期六甲部準備役員会が開催されました。クラブから、長井、濱崎(ファンド主査)、小野(次期EMC主査)の3人が出席しました。あいにく欠席となった堤次期会長の代行は長井が務めました。堤次期会長の方針案について説明し承認されました。なお、山田次期六甲部長より以下の連絡がありました。

- ・六甲部長の西宮クラブ例会公式訪問は、8/16(金)を予定。
- ・9月7日(土)に六甲部会を開催予定。場所は、JR神戸駅南のクリスタルタワー3Fにて。当日併せて神戸ポートクラブの25周年記念式典を兼ねて行うとのこと。
- ・次年度は、プリテンの各クラブへの送付は、メールで行うことを通常運用とします。(郵送されなくても、怒らないでくださいとのこと)
- ・西日本区メネット事業に各クラブから協力者を1名選任願います。

2. 三田震災復興イベント参加

5月26日(日)に三田市有馬富士公園で開催された東北震災復興フェスティバルで宮古の販売を行いました。当日は、お天気が良く多くの人が集いました。しかし、人出の割に宮古グッズの売れ行きは宜しくなく、東北のために沢山買って

やろうといった方はいませんでした。既に震災支援の意識が薄れているのか？しかし、石井メンの繋がりでも西宮JCの方々に沢山買って頂き、売上は3万円を越えたとのこと。ありがとございました。しかし、後3年間継続していくには、何か工夫が必要ですね。参加は、山本、濱崎、岩田、石井、長井でした。応援に山口(吉)、廣瀬メン、廣瀬マゴメットが来てくれました。

3. アジア大会ユースコンボケーション

西宮YMCAユースリーダー4回生の家田さん(昨年度リーダー会長)を推薦していますが、Yサ・ユース事業主任の下村さんから九分九厘参加出来るでしょうとのコメントを頂きました。6/15に「ホテルクライトン新大阪」で開催予定のオリエンテーションに参加して頂きます。西宮 YMCA で見かけたら抱負などをお聞きして下さい。

【YMCAニュース】

西宮YMCA館長 宗行 孝之介メン

さて、まもなく夏プログラムの募集が始まります。私が毎年繰り返し使う文章ですが今年もまたよろしくおねがいします。

「YMCAキャンプにさあ共に行こう」

YMCAで行っているキャンプは組織キャンプ、あるいは教育キャンプと呼ばれています。



巷では「キャンプ」というと大抵は1泊2日。テントで飯ごう炊さんをし、キャンプファイヤーとあわよくばドラム缶風呂くらいのイメージでしょうか。Yのキャンプは違います。キャビンに泊まり、大抵は

自炊しません。また、基本的にわたしたちは1泊2日のプログラムを「キャンプ」とは呼びたくありません。ご存じでしょうが、神戸YMCAの誇る余島の主力キャンプは今でも長期少年キャンプ(11泊12日)です。その起源は敗戦後の荒みきった社会・そして青少年に対して何かの働きかけができないかと考えた神戸YMCAの主事今井鎮雄が、その手段としてキャンプを選び、穏やかな瀬戸内の余島(注1)という舞台で、グループワーク理論をその支柱とし、大学生のボランティアリーダー達と始めてたキャンプにあります。あたかもその過程は1844年、荒廃した産業革命時代のロンドンで勃興したYMCA運動を彷彿とさせます。

「学び合う場としてのキャンプ」

さて、YMCAのキャンプは指導者→キャンパーという一方通行の学びではありません。互いに学び合う双方向性が特徴です。指導者もさることながら、「学び合い」の核心は実はキャンパー同士の関係性の中にあります。生活を共にする中で、次第に明らかになって行くお互いの基本的な生活流儀の差異、それは言い換えれば「異文化」そのものであり、さらにはそこではお互いの「受け取り方の差」、「伝え方の差」、「感じ方の差」、が現出してゆきます。それは一般社会のなかではとすれば埋没しがちな「個」と「個」が向き合う瞬間でもあります。これは必ずしも愉快的な体験ばかりではありません。受け入れがたい他者の流儀や、開示できない自分への焦り、子どもといえどもある種の葛藤に直面することになります。そこでキャンパーは一步踏み出すのも自由、とどまるのも自由です。

「共に揺れるリーダー」

YMCAのリーダーは「保育者」でも「先生」でもありません。どこにでもいそうな今風の大学生です。一般的な考え方からすると「善意は認めるけれど、頼りないのでは？」と思われるのも致し方ない

かもしれません。まだ、生き方も、価値観も確立していない彼らもすればすぐに揺れる彼ら。しかし、その「揺れる」姿にキャンパーは心を寄せてゆきます。キャンプ中に葛藤に陥ってしまったキャンパー。彼らに必要なのは「指導」でも「解説」でもありません。いつも一緒にいて、共に揺れてくれるリーダーの存在なのです。私達のように価値観が固定した「揺らがない」大人にはどうしてできない業、聖書にある「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(注2)を体現しているのが彼らキャンプカウンセラーなのです。

「自然と出逢い、他者と関わり、自分を発見する」

とはいっても、キャンプの魅力は自然の中で自然と人間本来が持っているリズムをシンクロ(同調)させることにあります。今風の言葉で言うと「スローライフ」そのものです。夜が明ければ起きだし、アクティブな活動へ、日暮れと共に静かな活動に移るというゆったりとした時間、栄養バランスに優れた食事、適度な運動と休息が含まれた安全が確保された空間、そして仲間。

それら全ての要素がシンクロした瞬間、そこには化学反応が起こります。その時、普段の生活では実感することが難しい、「友情」「協力」「奉仕」「信仰」「希望」そして「愛」が現実のものとなるのです。

それは125年前に須磨海浜で初めて行われた神戸YMCAキャンプの今も変わることがない真実です。

さあ、この夏こそ少し長いけれどもYMCAキャンプに参加してみませんか？

(注1)余島青少年キャンプ場 1950年に開設。香川県小豆郡土庄町。

(注2)ローマの信徒への手紙12章15節

【今後の予定】

6月の予定

1日(土)宝塚YMCAチャリティーバザー

8日(土)～9日(日)第16回東日本区大会(花巻)

14日(金) **第二例会** 19時～、西宮YMCA

22日(土)～23日(日)第16回西日本区大会(名古屋)

28日(金) **第一例会**(会員総会)、19時～、西宮YMCA

ドライバー:長井メン、山本メン

7月以降の予定

7月5日(金) **第二例会**、7月13日(土)第1回評議会、7月19日(金) **第一例会**(キックオフ例会)、8月1日(木)～5日(月)第25回アジア地域大会(フィリピン)、9月7日(土)六甲部会(兼神戸ポートクラブ25周年記念例会)、9月-10月各部部会、

16名20さ25ポ127神戸Y65西25宝15芦

- ・さんだ20周年:2/2バレンタインコンサート(終了)
- ・神戸ポート25周年:3/2平和コンサート(終了)
- ・芦屋15周年:4/21記念講演会(終了)
- ・広島65周年:4/20～21(終了)
- ・西宮65周年:5/18(終了)・宝塚25周年:5/25(終了)
- ・神戸ポートは六甲部会に兼ねて9月に記念例会
- ・さんだは10月に記念例会

♥第16回西日本区大会(名古屋)[6月22日(土)-23日(日)]

西宮クラブは宮古ショップを出店します。お手伝い下さい。

♥第16回東日本区大会(花巻)[6月8日(土)～9日(日)]

西宮クラブは宮古ショップを出店します。

♥第25回アジア地域大会(フィリピン)[7月31日(水)～5日(月)]

参加希望者はトラベルファイブにお申し込下さい。パンフレットは長井会長まで。A・B・C各コースはHPでご確認下さい。